

## ○事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準には達していますが事業所が広くはないため、外での活動の時間を多く設定しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			2人に1人の職員となることを目安に、基準以上の職員配置を行っています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	バリアフリーではありませんが、段差の高い所にはクッションを敷くなどの対策をしています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員に求められる目標を定め、各自振り返りを行ってもらい、半年ごとに評価をしています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け評価表を参考にし、業務改善につなげています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開しています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は行っていません。費用を考慮して実施を検討していきます。
適切な支援の提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に研修を行っています。外部研修へ積極的に参加し、参加しなかった職員へも伝達しています。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントの時間をしっかり取るようにしています。また、半年ごとに面談を行い、ニーズに沿った個別支援計画を作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所独自のアセスメントだけではなく、2017年1月からVineland-Ⅱによるアセスメントも行っています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			大まかな活動内容を基に、詳細な内容は全職員で検討しています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に応じた活動やイベントを取り入れています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			活動ごとの個別の課題について細かく設定し、支援しています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動と集団活動の両方の観点から児童の状況に応じた個別支援計画を作成しています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に、当日の支援内容や児童ごとに気を付ける点を伝え、全職員が共有しています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日支援の振り返りを行い、今後の対応等を検討しています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記入した職員とは別の職員が、正しく記録を取ることができているか確認し、支援の改善に活かしています。
その他	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年ごとには必ずモニタリングや面談を行い、計画の見直しを行っています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			様々な活動を組み合わせ支援を行っています。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			相談支援事業所と密に連携し、児童のことを把握している職員(児童発達支援管理責任者)が参画しています。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎時に情報共有をしています。また、必要に応じて電話での確認等を行っています。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアが必要な児童の受け入れは行っていませんが、フェイスシートに主治医を記載してもらっています。

関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	保育所等と直接情報共有をする機会は少ないですが、相談支援事業所を通して情報交換をしています。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		相談支援事業所を通して情報提供していますが、移行先から要望があれば直接の情報提供も行っています。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		毎年事業所で、あいち発達障害者支援センターの講師を呼び、ケース会議を行っています。外部研修も参加しています。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	児童館へ遊びに行く機会を設けています。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		町部会、全体会、子ども部会に参加しています。子ども部会では管理者が部会長を担当させて頂いております。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎日の連絡帳で当日の様子をお伝えし、送迎時に事業所やご家庭の様子を共有しています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	保護者様からの相談があった際に、ご家庭での支援のアドバイスをしています。
保護者への説明責任	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約前に丁寧に説明しています。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの悩みで事業所で行えることは支援計画に盛り込み、単独で難しい場合は相談支援事業所等と情報を共有して支援をしています。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	事業所単独では行っていませんが、知多南部の放課後等デイサービス事業所が共同でサロンを開催しています。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者様の要望には迅速かつ適切に対応しています。また、苦情の際には職員間で発生原因と改善策を共有し、再発防止に努めています。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		四半期ごとに、ほっぷだよりを出しています。月間予定等は、毎月配布しています。
	㉜	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報については取り扱いを注意するよう全職員に徹底し、守秘義務契約書を取っています。
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		実物や絵カードを用いたり、紙に書くなどして意思疎通を行っています。
非常時の対応	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域住民を招待する行事を行うことができていません。今後の課題です。
	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアルはありますが、保護者への周知が不十分なので、周知していきます。
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回以上訓練を行っています。
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部の虐待防止研修を基に、事業所内で研修を行っています。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束の必要な児童はいませんが、どのようなことが身体拘束に当たるかを職員間で共有しています。
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	アレルギーの食材を事前に聞き取りし、提供しないようにしています。
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		作成し共有しています。